

ブレインマークス

「震災後の保険代理店経営環境調査」

8割に震災関連の問い合わせあり

保険営業コンサルタントリングを手掛ける(株)ブレインマークス(東京都中央区、安東邦彦社長)がこのほど保険代理店関係者を対象に行なった「震災後の保険代理店経営環境調査」で、回答者の82・1%が東日本大震災以降「震災関連で保険の見直しや新規契約に関する問い合わせがあった」と回答した。また、今後の施策では26・9%が「地震保険の新規・中途付帯提案」を挙げる一方、大半が「これまで以上に新規

開拓を行っていく」と回答していることが分かった。

調査では、東日本大震災が保険代理店の経営におよぼしている影響などを調査・公開す

は間違いない。お客さまの立場で必要な保険を漏れなく提案する専門知識や、お客さまに寄り添う姿勢が今後一層求められる」と述べた。

「お客さまをもっと知るためにデータベースの拡充」(広島県・代理店経営)、「顧客接点強化」(石川県・代理店経営)などの回答もあった。

数寄せられ、今回の大震災が保険代理店関係者のモチベーション向上に寄与していることがうかがわれる。特に、被害の大きかった東北地方に住む回答者からは「リスクの発見から安心のための提案型営業をますます続けていかねば、と思っ

た」(福島県・代理店経営)「地震保険の支払いなどで感謝されることが多く、保険金が復興の一助になっているのを感じた。生・損保含めたトータルなリスク管理をお客さまに

今後の施策

「地震保険の提案」は約3割

ることで、今後の経営計画の見直しや業界の活性化への一助を目的に行われた。安東社長は「今回の震災が今後の保険代理店経営に大きな影響を与えたこと

問い合わせでは「生命保険の見直し」や、放射能汚染を危惧して「がん保険」に関するものも散見されたという。今後の施策について地震保険以外では

震災対応などを通して「保険募集人」という仕事の意義を問うた設問では、「業務の意義をあらためて認識するとともに決意を新たにした」との回答が多

数寄せられ、今回の大震災が保険代理店関係者のモチベーション向上に寄与していることがうかがわれる。特に、被害の大きかった東北地方に住む回答者からは「リスクの発見から安心のための提案型営業をますます続けていかねば、と思っ

た」(福島県・代理店経営)「地震保険の支払いなどで感謝されることが多く、保険金が復興の一助になっているのを感じた。生・損保含めたトータルなリスク管理をお客さまに

教えていきたい」(宮城県・課長クラス)との回答が寄せられた。

【調査概要】

▽有効回答数：78人
▽調査方法：インターネット調査

▽調査期間：11年6月7日～19日

▽調査対象：保険代理店関係者(保険会社含まず)

▽職種：経営者56人、従業員14人、委託(歩合)4人、その他4人

▽年齢：平均45・9歳
▽性別：男性77人、女性1人